

# 在宅で力を取り戻す

向日市にお住まいの82歳のKさん。若い頃は銀行にお勤めだった女性です。

2018年に脳内出血を起し入院、今はご自宅で暮らしています。退院当初は右側のものが認識出来ないこと、記憶の問題など様々な問題がありました。

は今までの暮らしを少しでも取り戻してもらいたいとKさんと共に家事を行う支援などに取り組んでいます。

退院から2年たった今、娘さんよりとても励みになる言葉を頂きました。

「大正琴をやる力が戻ってきたのです」と。

入院していたときは転倒が怖いからと、日中は車椅子から立たないように「固定」をされていた方が今は自分で歩き、簡単な家事もヘルパーとやって、好きだった大正琴を演奏する。

こんなドラマのひとつひとつがホームヘルパーの仕事の醍醐味です。

Kさんの体験は決して特殊な事例ではありません。

わたしたちはいろんな現場で何度も感動のドラマを体験しています。

つぎにまたその感動のドラマを体験するために今日の厳しい労働をこなしていきます。

こんな嬉しいドラマをたくさん体験するために。

その嬉しい体験が悲しいドラマを打ち消してくれるのです。

## 新型コロナウイルスについて

### 事務所の取り組み



当事務所が提供する訪問介護を中心とした福祉サービスについては、新型コロナウイルス感染発生の当初から社会基盤を支える事業の位置付けとして行政からサービスの継続的な提供を求められております。

今後、緊急事態宣言の対象地域となりましても利用者さんや従業員の安全に十分に留意し、引き続きサービスの提供を行ってまいります。

今後、緊急事態宣言を受けた場合、各地方自治体が順次方針を作成するという状況です。それにより、行政機関や保健所等の要請・指示に応じて一部サービスの休止や変更などの可能性があるかもしれません。

その場合は速やかにご利用者さんへ案内してまいります。

#### ☆ヘルパー訪問時

マスク着用

手洗いし消毒液で手を消毒して訪問します。

万が一実行していないヘルパーがおりましたら遠慮なくご指摘ください。

☆消毒液、マスクは事務所でも入手困難ですが、必要なヘルパーにはできる限り配布しています。

新型コロナウイルスは飛沫感染と接触感染により感染します。空気感染は起きていないと考えられていますが、閉鎖した空間・近距離での多人数の会話等には注意が必要とされています。

きょうと福祉倶楽部ヘルパー一同、プライベートでも閉鎖された人混みへの参加の自粛、体調管理に取り組めます。

